

2020年3月期第1四半期 決算説明資料

 **和弘食品株式会社**

2019年8月9日
証券コード 2813



市場環境

単身世帯の増加
女性の社会進出
少子高齢化

人手不足

健康志向
安全・安心

訪日外国人増加
インバウンド

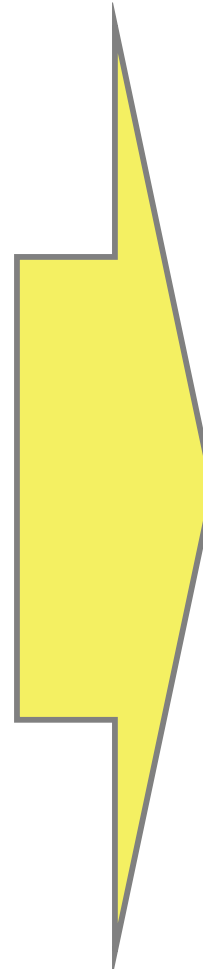
ビジネスチャンス

中食の拡大
食の外部化

調理の簡便化

食の多様化
高付加価値化

日本食・和食の
拡大・定着



ニッポンが誇る食ブランド“ラーメン”を世界へ



1. 2020年3月期 第1四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 業績予想
3. 第1四半期 トピックス (参考)

1. 2020年3月期 第1四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 業績予想
3. 第1四半期 トピックス (参考)

※ 業績数値に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=109.952円で計算しております。

● 連結業績

- ✓ 連結売上高は2,593百万円（前年同期比較 240百万円増収 +10.2%）
⇒国内売上及び国外売上共に外食業界への販売が好調。
- ✓ 連結営業利益は12百万円（前年同期比較 1百万円増益 +12.2%）
⇒国内利益は低調に推移したが、海外事業の改善が進み前年同期比較を上回る。

● 単体業績

- ✓ 国内売上高は2,371百万円（前年同期比較 177百万円増収 +8.1%）
⇒提案型営業の強化により外食、中食向け製品の売上が好調。
- ✓ 国内営業利益は39百万円（前年同期比較 △6百万円減益 △14.1%）
⇒売上高の増加に伴い運送保管費が増加し、低調に推移。

● 海外業績（北米）

- ✓ 国外売上高（北米）は245百万円（前年同期比較 64百万円増収 +35.4%）
⇒日本食レストランからの採用件数が堅調に推移。
- ✓ 国外営業利益（北米）は△26百万円（前年同期比較 22百万円増益）
⇒売上高増に伴い稼働率が向上、営業利益の改善が進む。

(単位：千円)	2019年3月期第1Q		2020年3月期第1Q	
	実績	実績	前年同期増減比較	
			金額	増減率
売上高	2,352,858	2,593,476	240,618	10.2%
売上原価	1,800,768	1,991,895	191,127	10.6%
売上総利益	552,089	601,580	49,490	9.0%
販売管理費	540,579	588,664	48,085	8.9%
営業利益	11,510	12,915	1,405	12.2%
経常利益	33,858	13,236	△20,621	△60.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,952	△3,018	△9,970	△143.4%
EPS	8.49円	△3.69円	△12.18円	—
総資産	7,580,453	8,206,599	626,145	8.3%
純資産	3,940,278	3,969,032	28,753	0.7%

予想達成率

売上高

23.8%

営業利益

4.1%

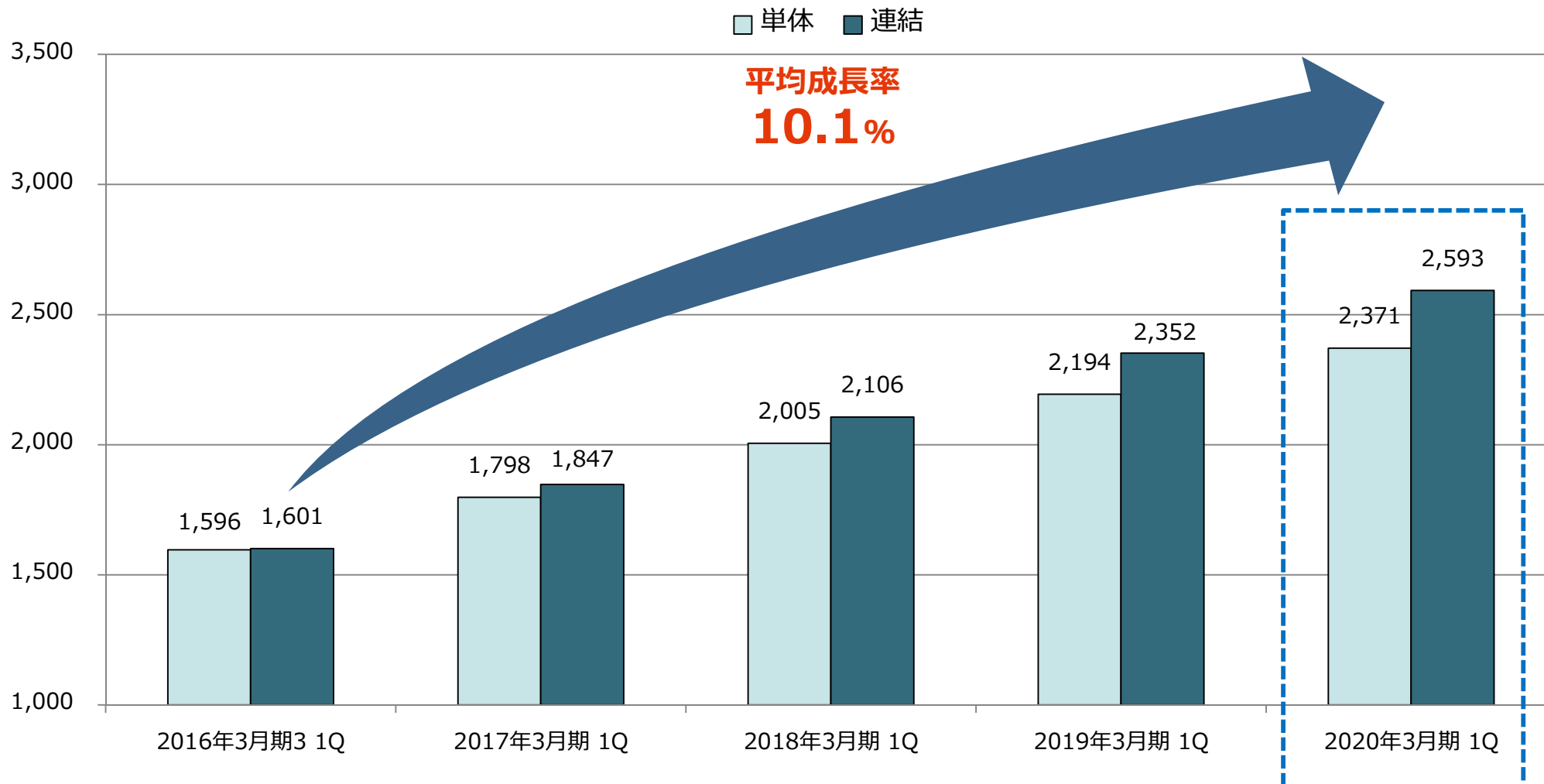


【好調理由】

- ①国内・国外共に外食市場向けの業務用調味料の販売が好調を継続。
 - ②WAKOU USA INC.の業績改善が進み売上総利益、営業利益が改善。
- ※四半期純利益については特別損失の計上により減益となっております。

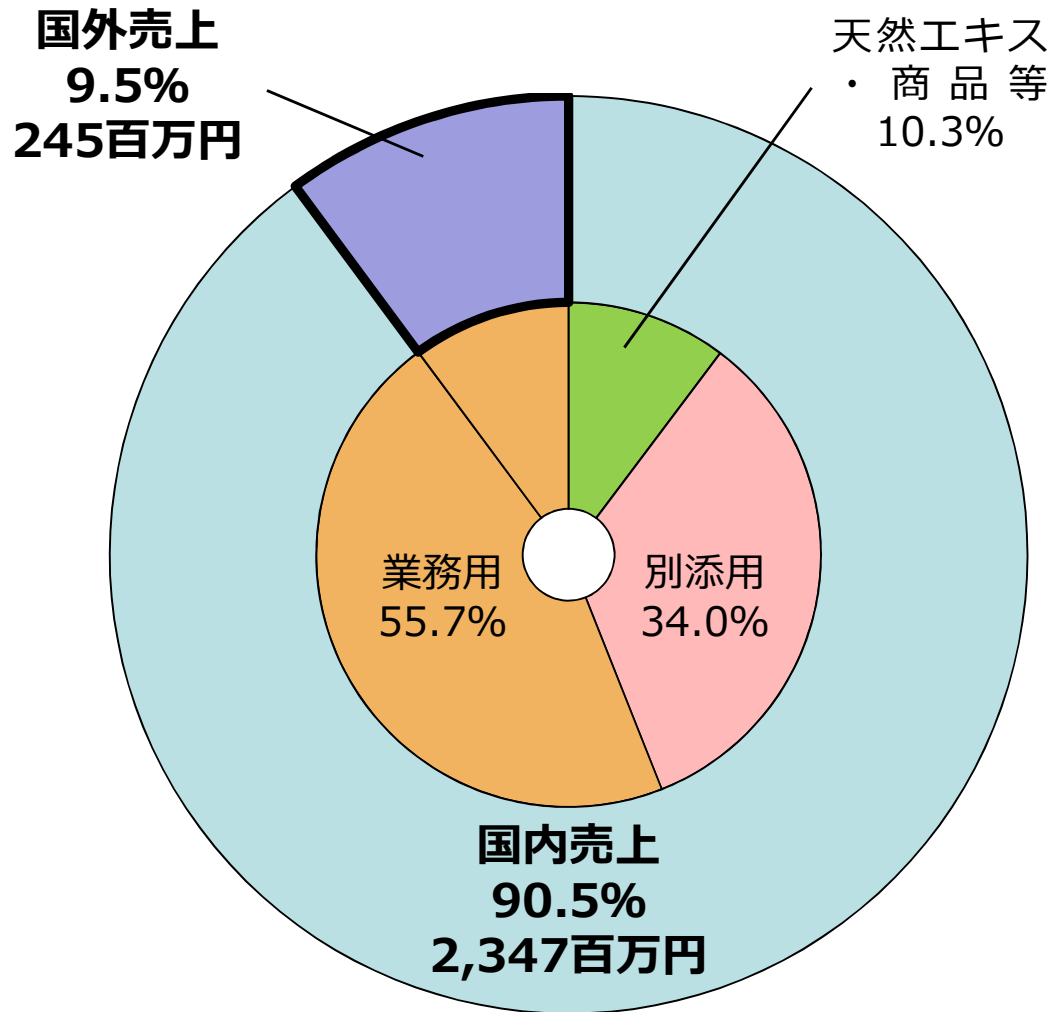
■ プレゼンルームを活用した提案型営業の強化により好調を継続、連結売上高は前年同期比較 240百万円増（10.2%増）

（単位：百万円）



※ 2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。

■ 連結売上高は別添用・業務用製品が牽引（前年同期比：別添用3.6%増、業務用14.0%増）



※ 国外売上についてはWAKOU USA INC.の業務用売上が92.9%であることから「業務用」の区分で表記しております。

別添用



主に内食業界向け（袋めん付属スープ等）、中食業界向け（コンビニエンスストア向け調理麺付属スープ・めんつゆ等）で使用される形態です。また、近年では大手外食チェーンの調理オペレーション効率化に伴い、小袋形態での受注が増加傾向にあります。
本格的な専門店の味をご家庭にお届けすることをモットーに味作りをしております。

業務用



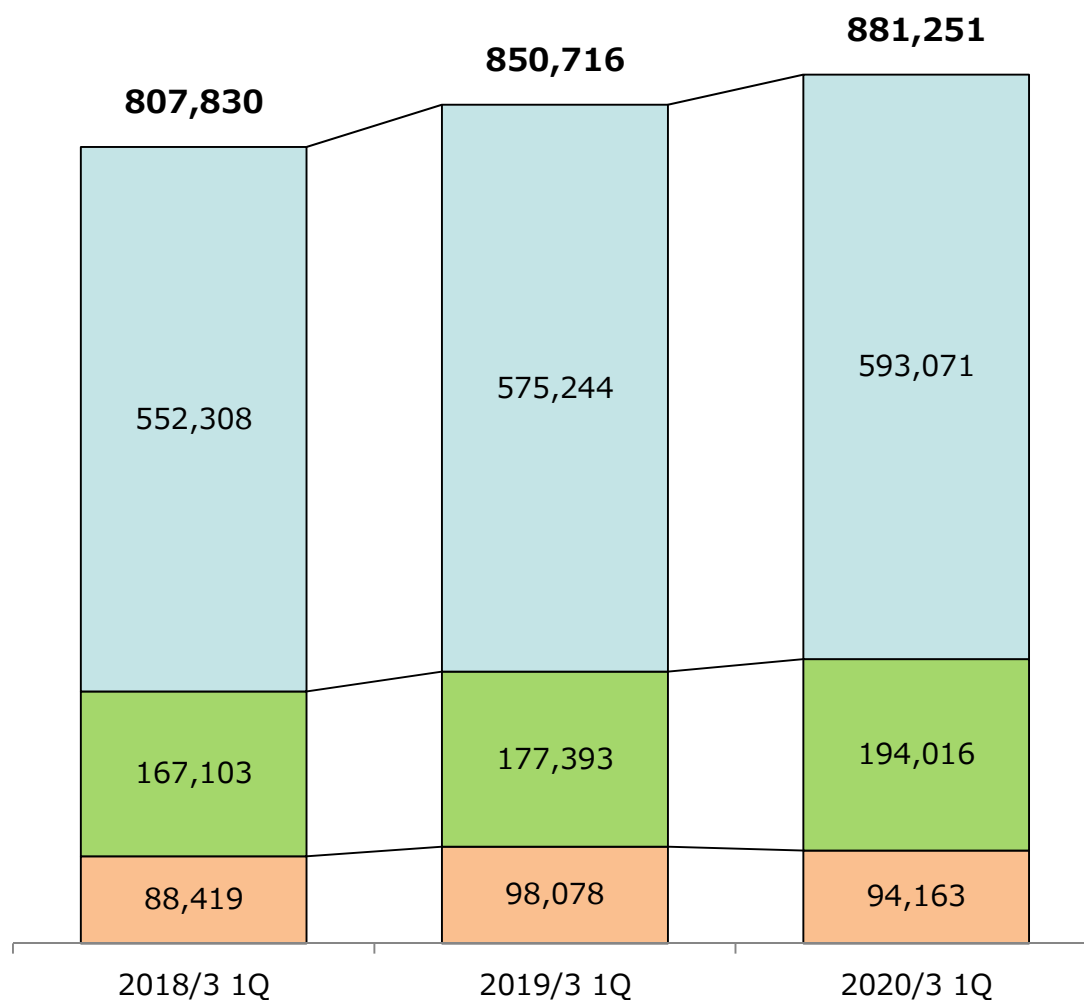
主に中食業界向け（スーパーマーケットの惣菜バックヤード等）、外食業界向け（ラーメン店、レストラン、居酒屋等）で業務用として使用される形態です。
本格的な専門店の味の再現や仕込み作業軽減等、数多くの企業・繁盛店様のご要望やニーズに沿った製品作りを心掛けております。

天然エキス・商品等



北海道の新鮮素材を独自の製造技術により精製した天然エキスは、原料として数多くの製品に取り入れられている他、外販もしております。
また、商品（転売品）等もこの項目に含めて表示しております。

(単位：千円)



別添用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
- ・魚介系ラーメンスープ（しじみ、あさり）
中華そば、鶏白湯ラーメンスープ
- 【内食用 ↗】
- ・担々麺、チルド冷麺スープ

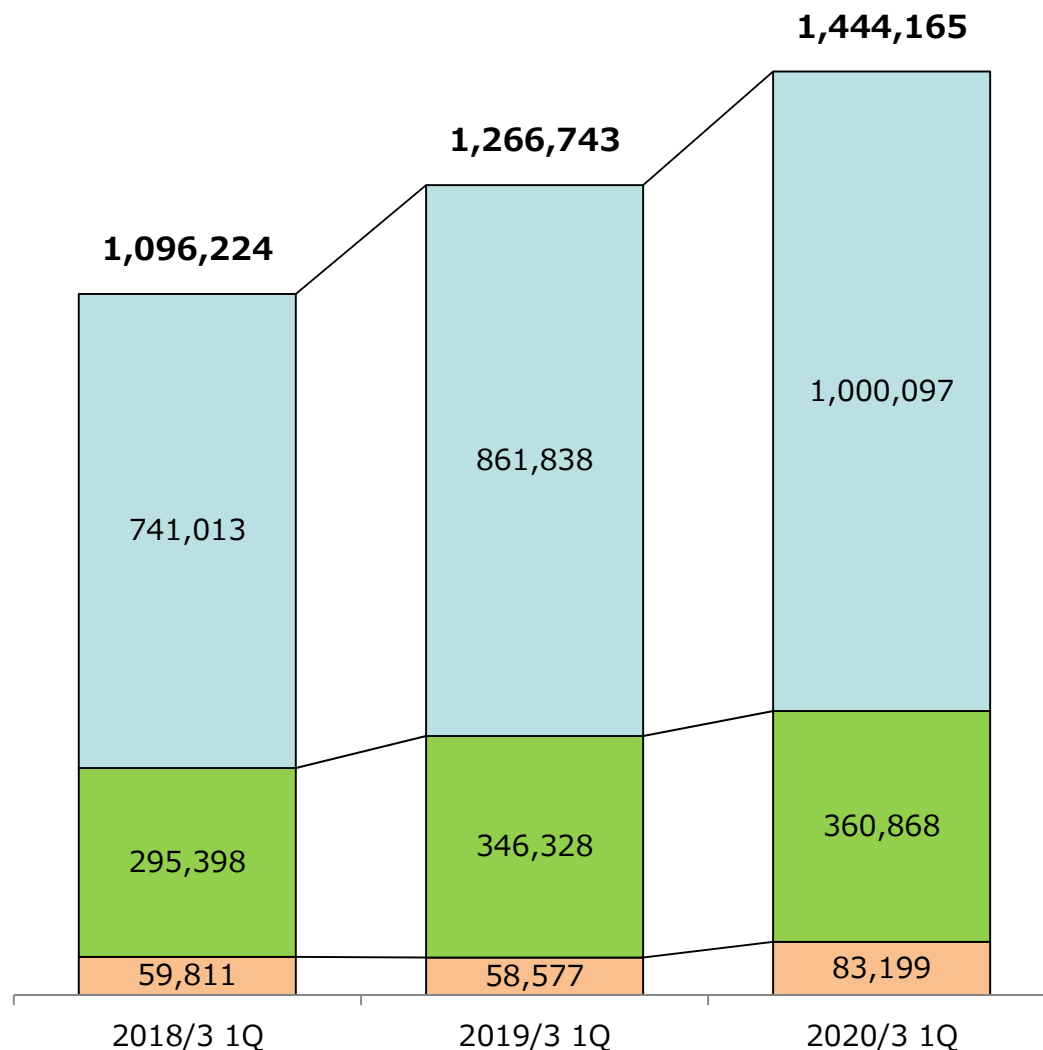
別添用その他 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
- ・トムヤムスープ、ボンゴレソース、
麻婆豆腐の素
- 【内食用 ↗】
- ・山椒焼きそばソース、ザンギのたれ、
レモンステーキのたれ

別添用冷し中華 主な増減要因

- 【内食用 ↘】
- ・量販店向けの冷し中華のたれ

(単位：千円)



業務用ラーメン 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・豚骨、味噌、冷やし担々麺、魚介系（魚介醤油、海老塩）
- 【中食用 ↗】
 - ・味噌、担々麺、辛子香味油

業務用その他 主な増減要因

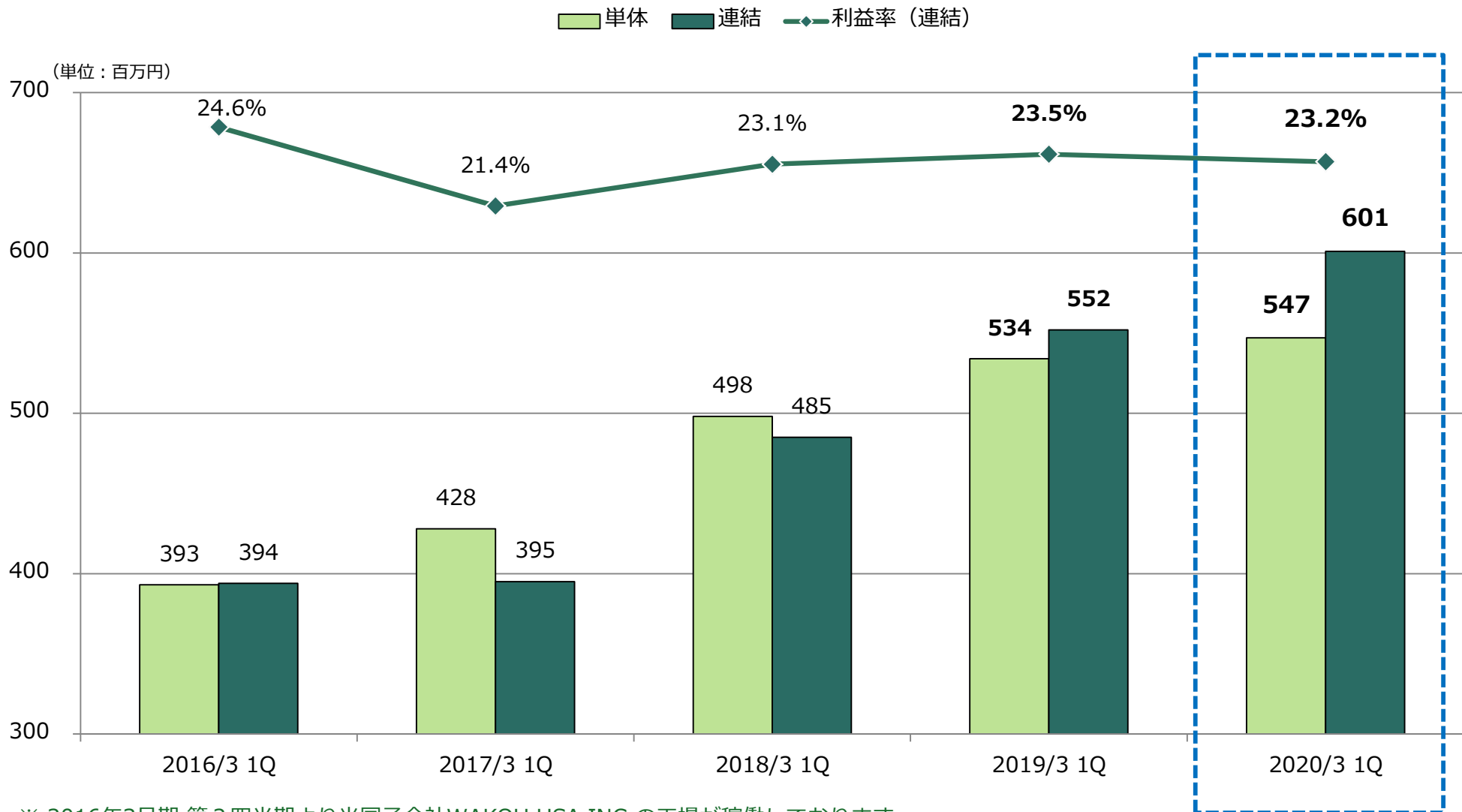
- 【外食用 ↗】
 - ・鍋、しゃぶしゃぶ用スープ（牛テール、鶏白湯、おろしつゆ）、ボンゴレソース（パスタソース）
- 【中食用 ↗】
 - ・おにぎり、お弁当用うま味オイル

業務用畜肉・水産 主な増減要因

- 【外食用 ↗】
 - ・焼肉のたれ、牛すじ煮込みのたれ、生姜焼きのたれ、すき焼のたれ

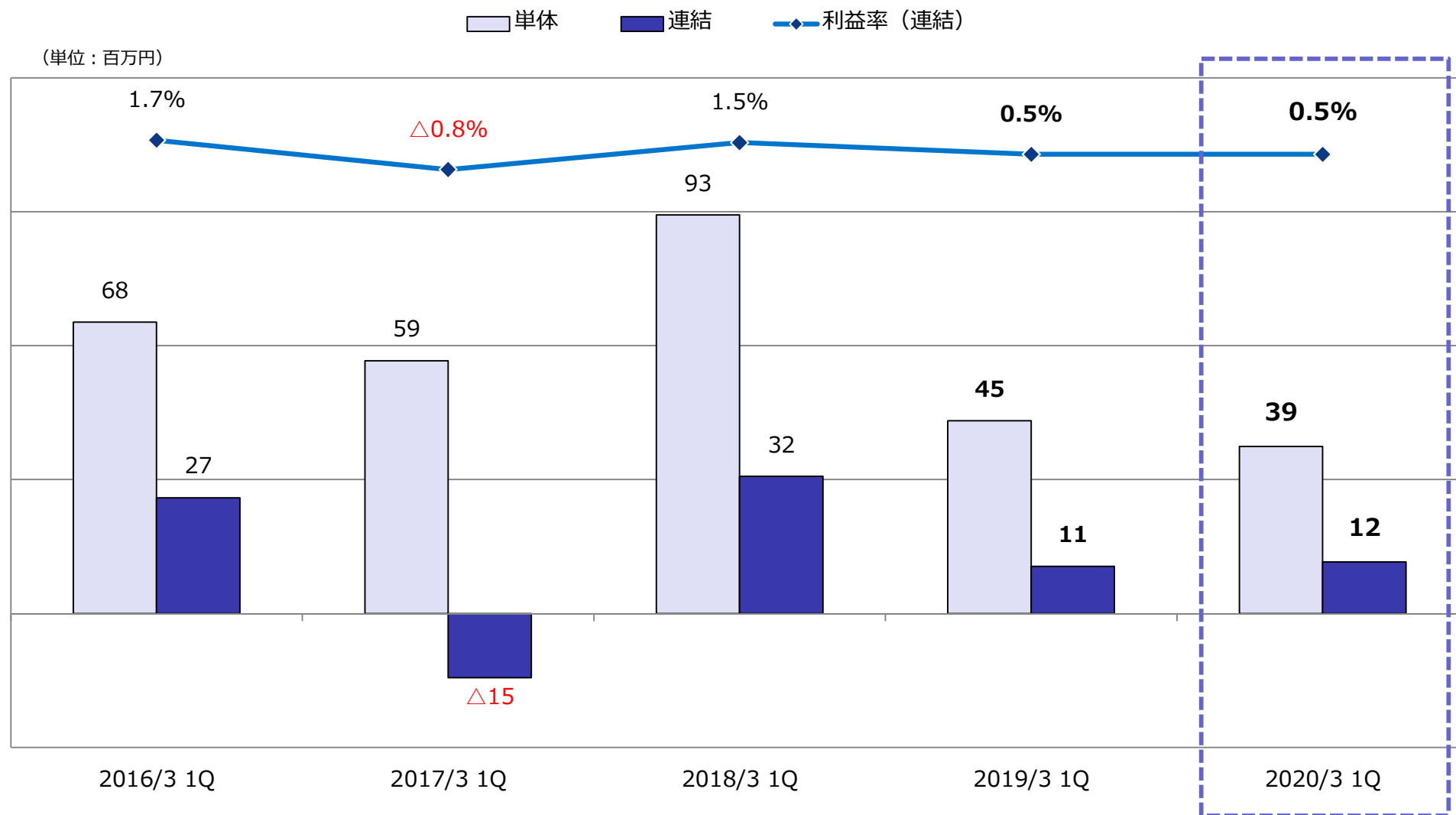
売上総利益推移（単体・連結）

連結営業利益率については、WAKOU USA INC.の業績は改善へ向かうが、一時的な間接費用が増加し、横ばいに推移



※ 2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。

■ WAKOU USA INC.の業績は改善へ向かうが、国内業績については運送保管費の増加により低調に推移



※ 2016年3月期 第2四半期より米国子会社WAKOU USA INC.の工場が稼働しております。

営業利益増減分析（連結）

主な増益・減益項目 (単位：千円)	2019/3 1Q		2020/3 1Q		前年同期増減比較	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売上総利益	552,089	23.5%	601,580	23.2%	49,490	9.0%
運送・保管費	144,121	6.1%	163,601	6.3%	19,479	13.5%
人件費	181,433	7.7%	186,210	7.2%	4,776	2.6%
その他販売管理費	215,023	9.1%	238,852	9.2%	23,829	11.1%
営業利益	11,510	0.5%	12,915	0.5%	1,405	12.2%

増益要因

売上総利益

： 外食・中食市場向け調味料の販売が好調。売上高240百万円増加
 ： WAKOU USA INC.の業績改善に伴い増益。

減益要因

運送・保管費

： 各運送会社の運賃の値上げに伴い増加

人件費

： 拡販活動に伴う増員により人件費が増加

その他販売管理費

： 主に支払報酬、租税公課等が増加

対策

構造改革推進委員会を設置

- ・ 受注、生産体制の見直し
- ・ 運送、保管方法の見直し
- ・ 社内体制の見直し

キャッシュフローの状況（連結）

【営業CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 税引前当期純利益減少額 $\Delta 23$ 百万円
- ・ 法人税等の支払額の増加 $\Delta 46$ 百万円

【投資CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 有形固定資産の取得 $\Delta 46$ 百万円
- ・ 有価証券の取得額の減少 $+14$ 百万円

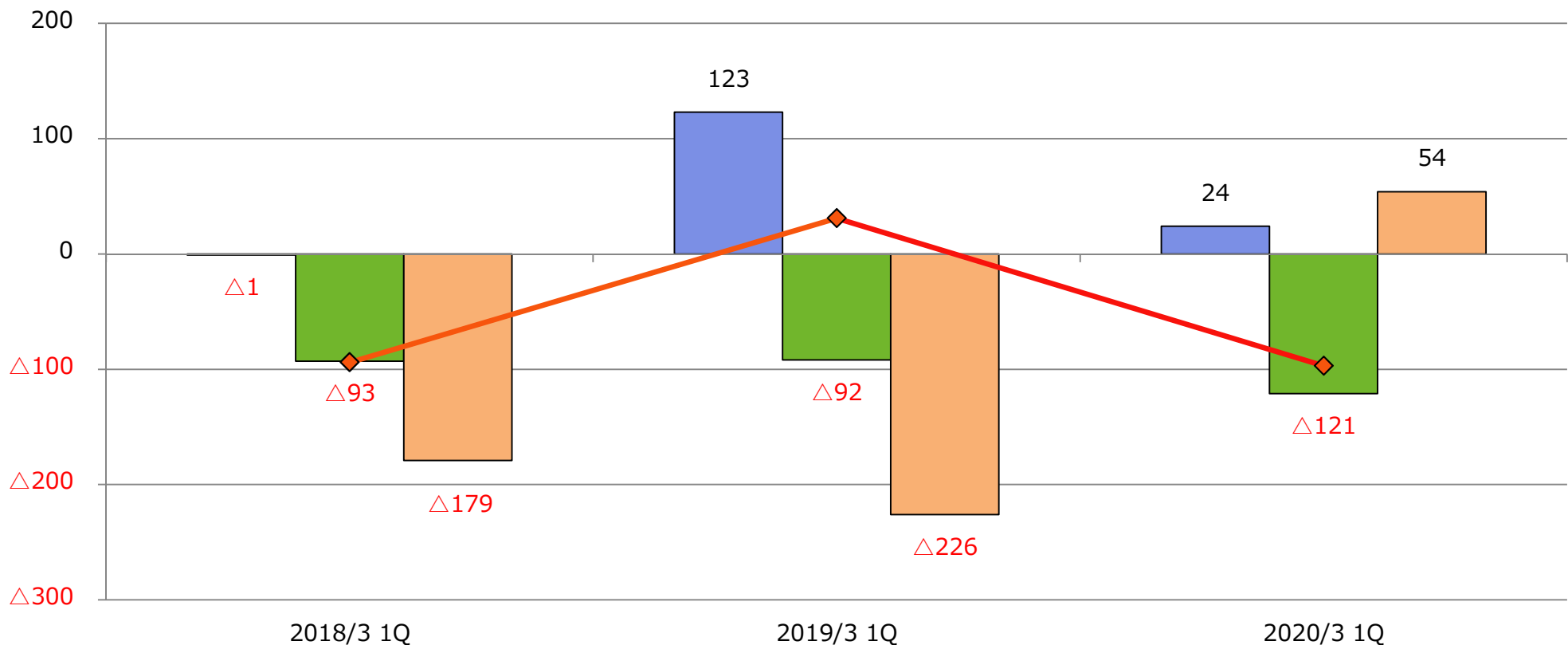
【財務CF】

主な増減要因（前年同期増減比較）

- ・ 短期借入金の増加 $+250$ 百万円
- ・ 長期借入の返済額減少 $+15$ 百万円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ◆ FCF

（単位：百万円）



(単位：千円)	2019/3 1Q	2020/3 1Q	前年同期増減比較	
	実績	実績	金額	増減率
設備投資額 ※1	70,794	78,100	7,305	10.3%
減価償却費	87,297	88,598	1,300	1.5%
研究開発費	44,787	58,310	13,522	30.2%
フリーキャッシュフロー ※2	31,543	△96,992	△128,535	—
有利子負債 ※3	1,804,071	2,210,207	406,135	22.5%
配当金支払額 ※4	40,934 (50円/1株) <small>(効力発生日：2018年6月21日)</small>	40,934 (50円/1株) <small>(効力発生日：2019年6月24日)</small>	—	—
ROE ※5	0.2%	△0.1%	△0.3%	—

※1 主な設備投資：製造設備の導入 22,690千円（主に、製造タンクの追加）
：構築物 24,815千円（主に、駐車場舗装工事）

※2 国内利益の減少、設備投資の増加に伴いフリーキャッシュフローが減少。

※3 設備投資に向けた資金調達により有利子負債が増加。

※4 配当金支払額については株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

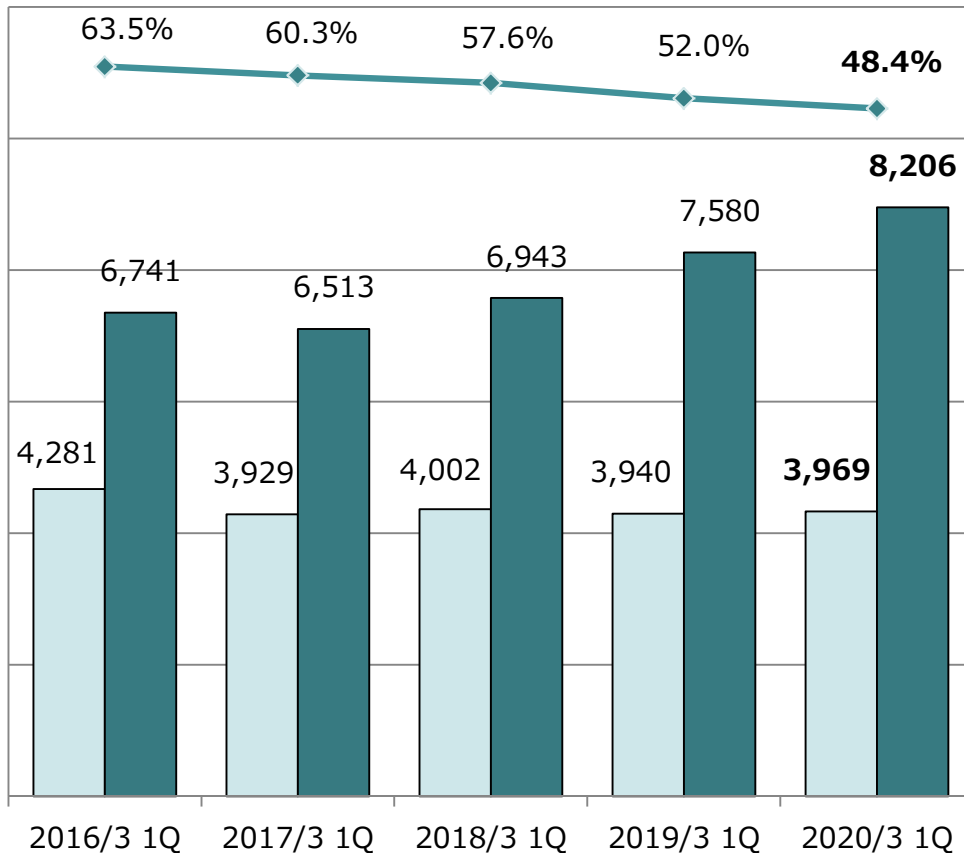
※5 四半期純利益の減少に伴い前期比較0.3%ポイント減少。

■ 設備投資に向けた借入金が増加し、自己資本比率及び流動比率は共に減少したが、今後の業績向上に伴い回復へ向かう見込み

自己資本比率の推移

□ 自己資本 ■ 総資産 ◆ 自己資本比率

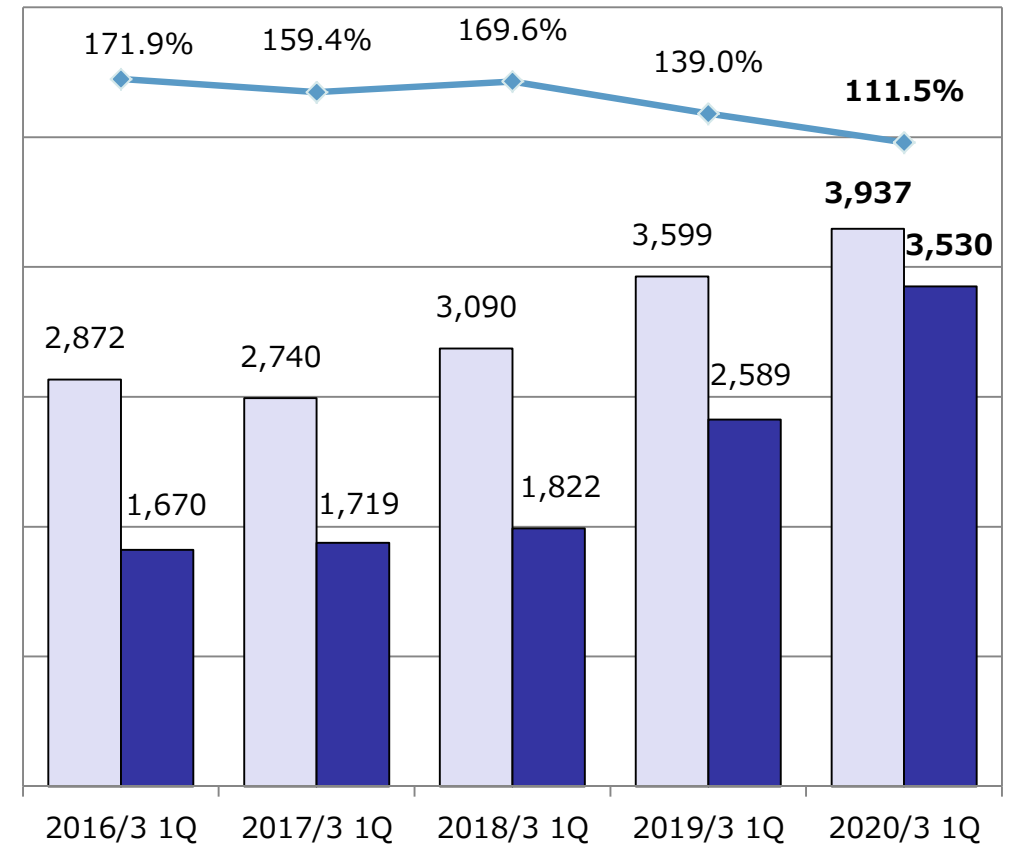
(単位：百万円)



流動比率の推移

□ 流動資産 ■ 流動負債 ◆ 流動比率

(単位：百万円)



1. 2020年3月期 第1四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 業績予想
3. 第1四半期 トピックス (参考)

※ 業績予想に係る在外子会社（WAKOU USA INC.）の換算レートは1ドル=110円で計算しております。

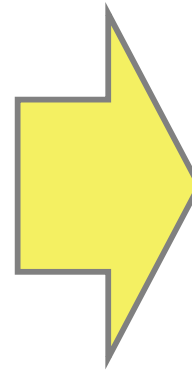
2020年3月期連結業績予想

(単位：百万円)	2020年3月期 第1Q		2020年3月期業績予想		
	実績	進捗率	上期	下期	通期
売上高	2,593	23.8%	5,241	5,635	10,876
売上原価	1,991	24.0%	4,071	4,188	8,260
売上総利益	601	23.0%	1,169	1,447	2,616
販売管理費	588	25.6%	1,105	1,194	2,299
営業利益	12	4.1%	64	252	317
経常利益	13	4.0%	71	258	330
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3	—	47	217	264

※ 業績予想の数値は季節的影響を含んでおります。

市場環境

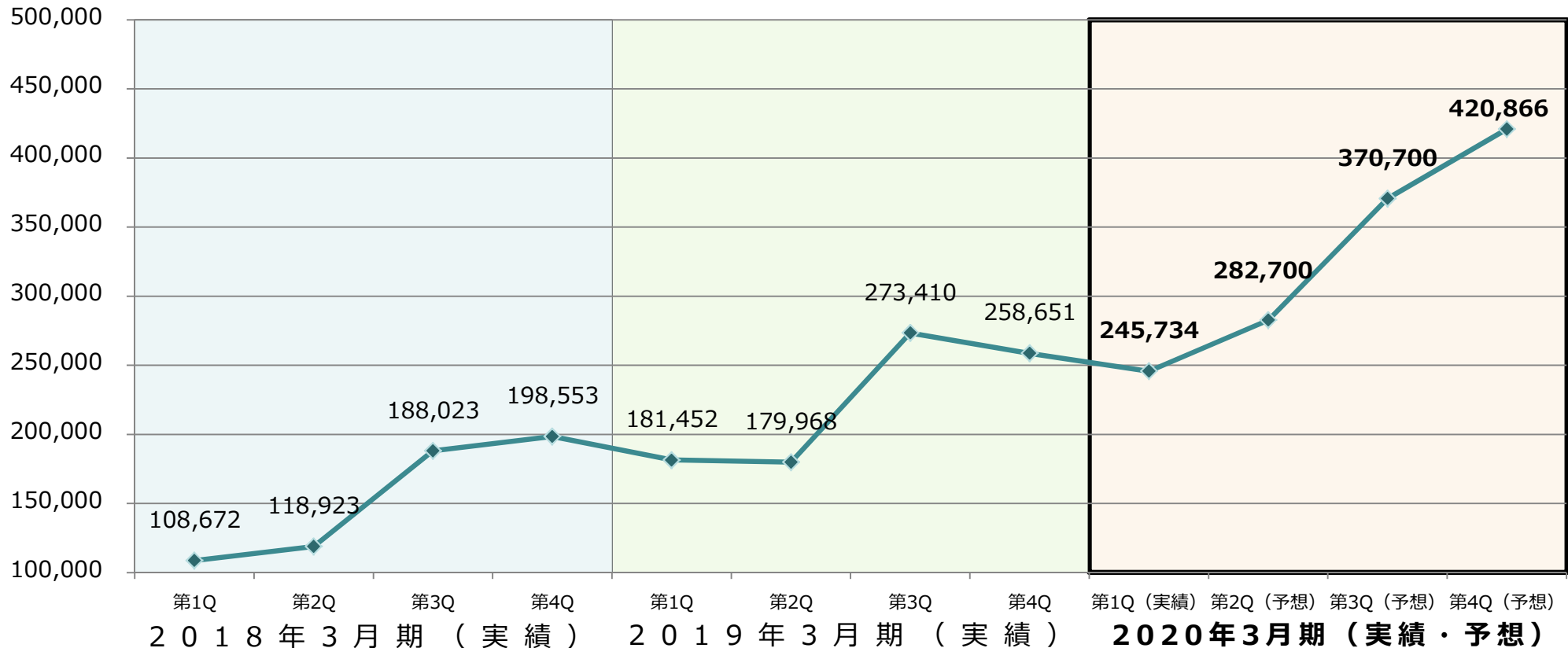
- ・日本からのラーメン専門店の進出が増加、ラーメン人口が急激に増加している
- ・SUSHI等の日本食レストランで、ラーメンのサイドメニュー化が加速している
- ・食の安心・安全からUSDA認証製品が注目されている



内部環境

- ・アメリカ国内において知名度が高まっており、現地でのラーメン産業展では非常に人気を博している
- ・今後も大口の日本食レストランからの採用件数は増加する見通し
- ・USDA認証を取得した北米でも珍しいスープ類専門工場

(単位：千円)



※ 業績予想の数値は季節的影響を含んでおります。

1. 2020年3月期 第1四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 業績予想
3. 第1四半期 トピックス (参考)

お客様から大変ご好評を頂いているイベントとなっており、大盛況のうち、無事終了致しました。

日時：2019年5月14日～16日

目的：外食業界の企業様に向けた試食・提案営業

来場者：30,405名（前年来場者数：28,632名）



2019年5月14日より3日間、インテックス大阪にて外食ビジネスウィーク2019に出展致しました。

3日間の会場来場者数は30,405名で「北海道鮭だしラーメン」「北海道花咲ガニだしラーメン」「北海道ホタテ塩ラーメン」をご提供致しました。

また、人手不足のラーメン店様向けにガラスープに関する悩み相談窓口も設けさせて頂きました。こちら也非常に好評で、試食カウンターのまわりは常に行列ができており、顧客獲得につながるイベントとすることができました。

IRメールを配信し、投資家の皆様とのコミュニケーションを推進

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録の皆様にニュースメールを配信しご案内しております。メール配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）いただけますので、是非ご利用ください。



<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=2813>

※ IR配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しております。

- ◆本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◆本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。
- ◆本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：藁谷

TEL : 0 1 3 4 - 6 2 - 0 5 0 5

E-mail : IR@wakoushokuhin.co.jp